

問い合わせ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

監理課長 牛島 学

電話 022-363-0111 (内線 2510)



海上保安制度創設70周年



平成30年9月11日

第二管区海上保安本部

仙台塩釜港の海図を全面リニューアル

東日本大震災の影響により、宮城県を中心に広範囲にわたり地盤の沈降が発生しましたが、その後、東北地方太平洋側の港湾では、ゆっくりとした地盤の隆起が長期間継続しており、水深が浅くなっている可能性があることから、順次調査確認を実施しております。

仙台塩釜港については、潮汐観測及び水深測量により、地盤の隆起が確認されたことから、最新の測量成果により海図を改訂することにしました。

改訂した仙台塩釜港の海図（仙台、塩釜の2図）を、9月14日に発行します。

1. 改訂の経緯

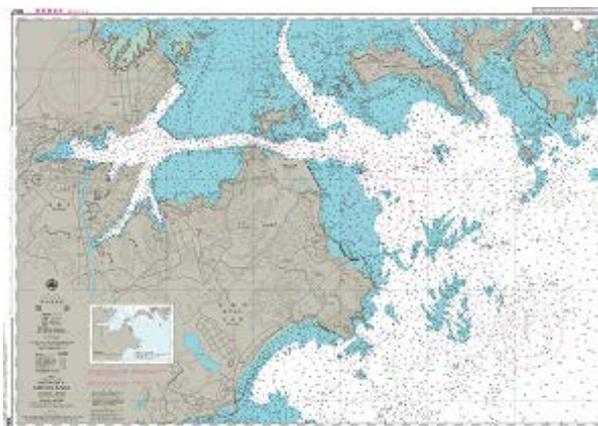
仙台塩釜港は、東北唯一の国際拠点港湾であり、仙台区はコンテナ・ユニット物流の拠点、塩釜区は地域基盤産業の輸送拠点となっています。

仙台塩釜港の海図は、震災により海底の状況の著しい変化が想定されたことから、主要な航路、岸壁付近の水深測量を行い、その成果を使用して平成23年9月に改訂し、その他の区域を測量した成果を使用して平成25年11月に、震災後二度目の改訂を

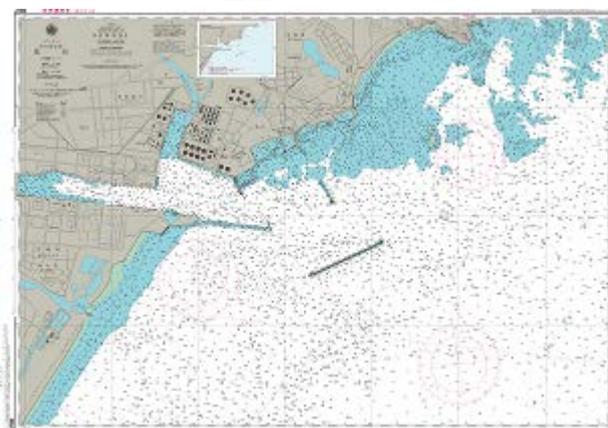
したところです（塩釜については、航路幅変更に伴い平成26年8月に三度目の改訂を実施。）。

海上保安庁では、震災の影響による地盤の変動について、航海の安全を確保するため、測量船や航空機による水深測量を継続して実施しており、今回の改訂にもこの成果が反映されています。

（新しい仙台塩釜港塩釜の海図）



（新しい仙台塩釜港仙台の海図）



2. 海図の概要

海図番号	図名	縮尺	図積	価格[税込]	発行日
W64A	仙台塩釜港塩釜	1/10,000	*全紙	3,456 円	平成 30 年 9 月 14 日
W64B	仙台塩釜港仙台	1/10,000	*全紙	3,456 円	平成 30 年 9 月 14 日

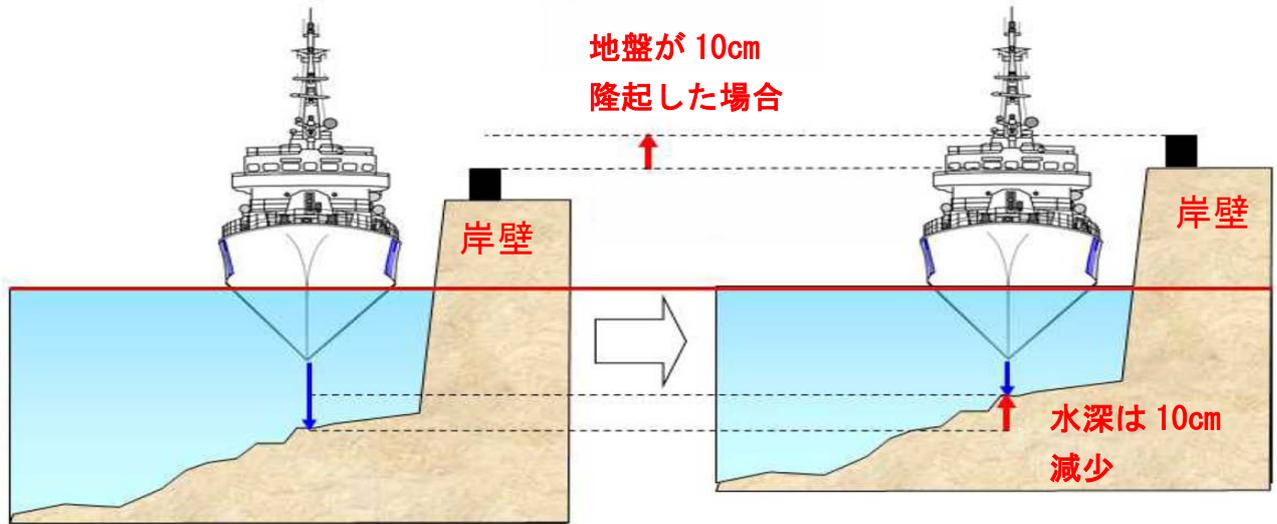
* 図積 全紙とは、用紙の寸法が約 109cm×77cm の大きさのもの

3. 海図は最寄りの水路図誌販売所又は取次店で購入できます。販売所等については、以下のホームページ「海図の購入方法（水路図誌販売所）」や当庁刊行の水路図誌目録をご覧ください。

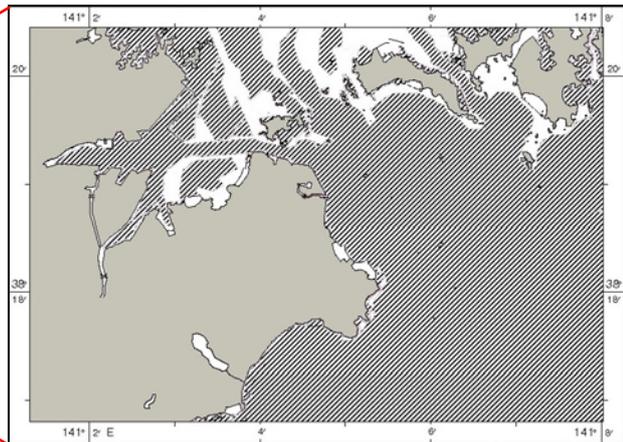
ホームページ（海図の購入方法）

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/default.htm>

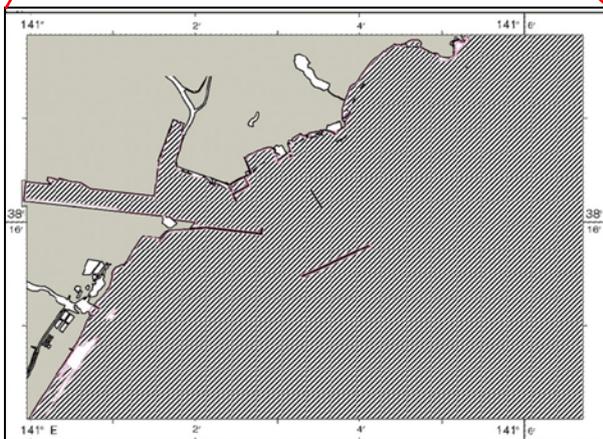
地盤隆起に伴う港の水深変化イメージ図



海図の範囲及び震災後の測量範囲

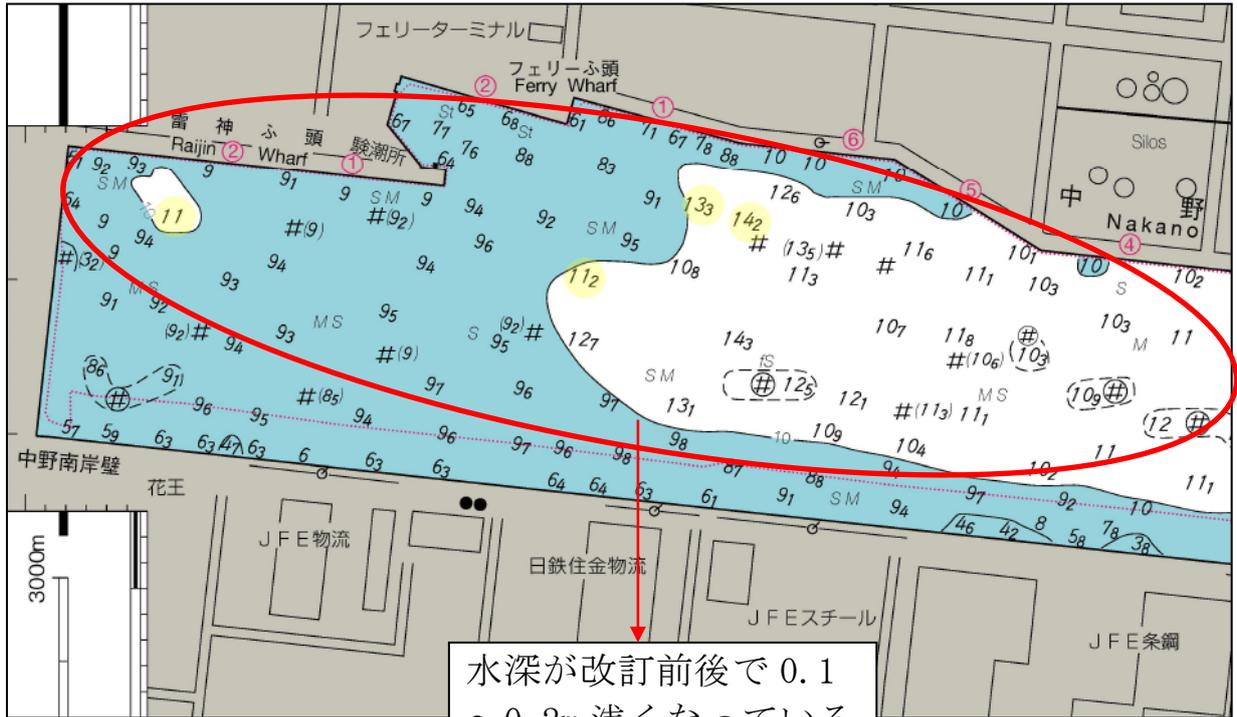


斜線の区域が震災後の測量

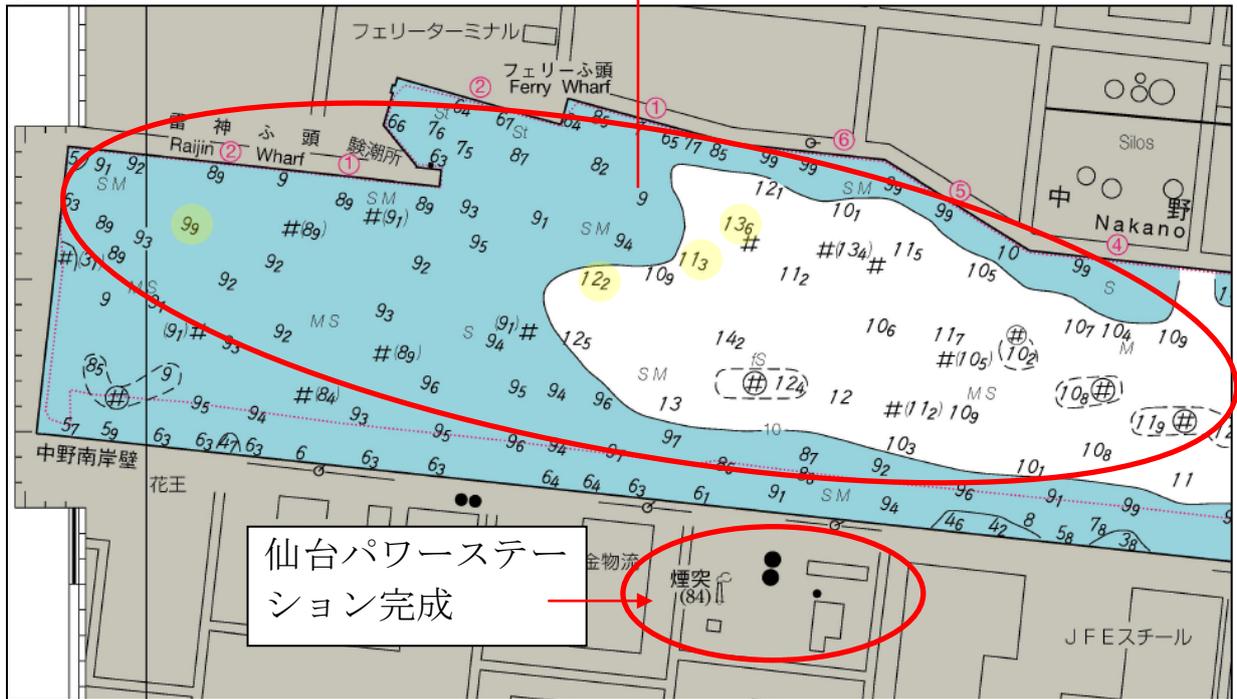


斜線の区域が震災後の測量

○フェリーふ頭付近
改訂前



改訂後



● 地盤変化と水深変化が関係ない箇所